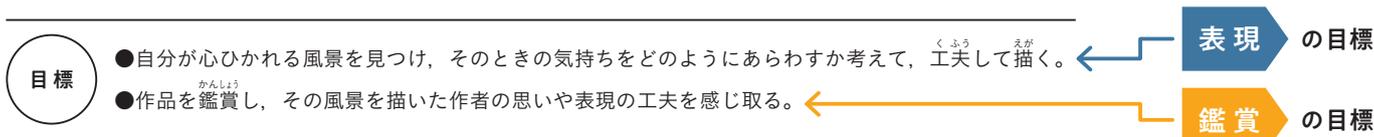


わかりやすく示した 題材の目標

新版教科書の各題材の目標は、生徒に伝わりやすい内容と言葉で示しています。

POINT 1 題材で身につける力がすぐにわかる

題材の目標は、生徒がその題材における到達点を確認するためのものです。そのため、生徒がわかりやすいよう「表現」と「鑑賞」の二つに整理し、その題材でどんな力を身につけるのか、簡潔に示しました。



目標の文章が
とても
わかりやすいね！



1年 P.22～23
「心ひかれるこの風景」

POINT 2 授業の流れの中で、目標を意識した指導ができる

教科書紙面で示される 鑑賞 → 表現 → 鑑賞 の流れと、二つの目標は対応しています。
それぞれの活動において、目標を意識しながら指導することができます。

POINT 3 新しい観点別評価規準に対応しやすい

中学校美術科の評価については、2020年3月末に国立教育政策研究所より、右の表のような六つの評価規準が示されました。知識・技能の「知識」以外は、「表現」「鑑賞」の領域ごとに作成するため、二つの目標に対応させると、新しい評価規準がわかりやすく整理されます。

※教科書題材の六つの評価規準例は、年間指導計画資料としてウェブで公開します。(6月末公開予定)

評価の3観点	知識・技能	知識	知	表現	鑑賞
		技能	技	表現	
	思考・判断・表現	発想・構想	発	表現	
		鑑賞	鑑	鑑賞	
	主体的に学習に取り組む態度	表現の「主体的に学習する態度」	態表	表現	
		鑑賞の「主体的に学習する態度」	態鑑	鑑賞	

